

音楽 II

『家庭学習用課題』

13 期生用の音楽課題は以下の内容となっています。

- ・序章 楽譜の知識と書法(規則) ※1
- ・第一章 音名
- ・第三章 反復記号(2 ページ)
- ・第四章 音符と休符
- ・鑑賞レポート(2 枚) ※2

※1, 「序章」「第一章」「第三章」「第四章」に関しては、教科書 P114 以降「楽典」の内容からとなります。以前(小、中学校など)に習ったことのある内容かと思われるので、EX と書かれる穴埋め問題を完成させてください。また、例などを参考にして、解いてみましょう。

※2, 「鑑賞レポート」に関しては、『日常にある様々な音楽』の研究と感想を書いてください。ジャンルは問わず、曲名、作曲者、演奏形態(たとえば、ロックバンドやオーケストラ、細かく書けば、エレキギター、ベース、ドラム etc)、を書き、その曲を分析してください。研究とは、その曲が作られた過程や、その曲によって救われた人たちなど、どのように伝わってきたのか、なぜ有名になったのかなどなど、書きましょう。

※提出する際はクリップ、ホッチキスなどでまとめ、表紙となる面に学年組番号名前を記してください。記入のないものは評価しません。

こんにちは。音楽科の白鳥です。昨年度は式典以外、13 期生とあまり携わりがありませんでしたが、音楽を担当とさせていただきます。懐かしき田橋先生を引き継いで教鞭していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

序章 楽譜の知識と書法 (規則)

■ 音符と譜表

第5線
第4間
第4線
第3間
第3線
第2間
第2線
第1間
第1線

ト音記号

☆第3線より高い音は符尾を下向きにする。

☆五線上に収まらない音は加線を付け加えて書く。

符尾(ぼう)は1オクターヴ上の同音のところまでの長さにする。

高音部譜表(ト音譜表)

ヘ音記号

低音部譜表(ヘ音譜表)

誤
加線と音符(符頭)が離れすぎている。
この線は不要

■ 譜表の構造

臨時記号は音符の左側に付ける

調号により常にファの#となる

①音部記号 ②調号 ③拍子記号の順番で記す

も音符の左側に付ける

Ex. 1 ト音記号を3回書いてみよう。 **Ex. 2** シ、ラを四分音符で書いてみよう。

ト音記号

線と線間の音符は横長に

正 誤 記入せよ

線の上の音符は縦長に

Ex. 3 ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラの♭、シの♭、ドを四分音符で書いてみよう。

第1章 音 名

■ 幹 音

「音名」は、一つ一つの音の高さに付けられた固有の名称であり、日本では「ハ・ニ・ホ・ヘ〜」、ドイツでは「C・D・E・F〜」といった名称が用いられている。音名はまず#、bなどによって変化されていない音である幹音（ピアノの鍵盤の白鍵に当たる）の音名が基本となる。幹音に#、bなどが付いて変化した音である派生音^{はせいおん}の音名は、幹音の音名を基に表される。下に日本語、英語、ドイツ語、イタリア語による幹音名を示した。音階の各音には名前が付き、クラシック系はドイツ語、ポピュラー系では英語が多く使用され、またイタリア語はすべてのジャンルで使用されている。

は に ほ へ と い ろ は に ほ へ と い ろ は

ドイツ語、イタリア語の読み方を片かなで書いて覚えよう

英 語:	C	D	E	F	G	A	B	C
ドイツ語:	C	D	E	F	G	A	H	C
読み方:	()	()	()	()	()	()	()	()
イタリア語:	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si	Do
読み方:	()	()	()	()	()	()	()	()

■ 音部記号について

音部記号には次のような記号がある。各音部記号の中央ハ音（ハ）の位置を示した。

ト音記号 ヘ音記号 ハ音記号

■ 中音部記号（ハ音記号）

更にハ音記号は、中央ハ音の位置の違いによって名称が変わる。

ソプラノ記号 アルト記号 テノール記号

第3章 反復記号

■ リピート記号 (||: ||)

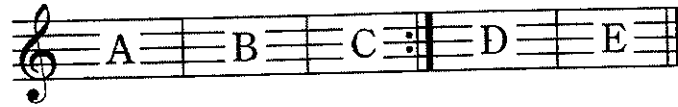
この記号に挟まれた小節部分を2回演奏することを表す。この記号には次のような用法がある。

[例]



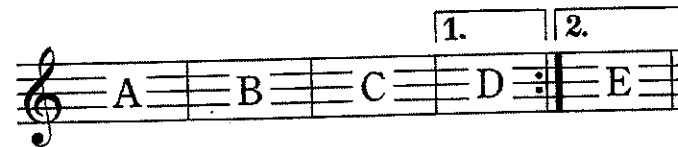
[演奏順序]

ABCDCDE



ABCABCDE

また、繰り返す内容が部分的に異なる場合は、カッコを使って表す。

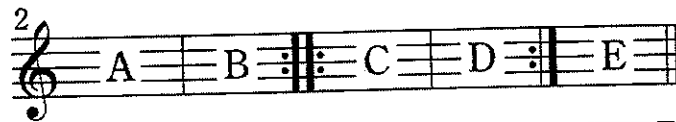


ABCDABCE

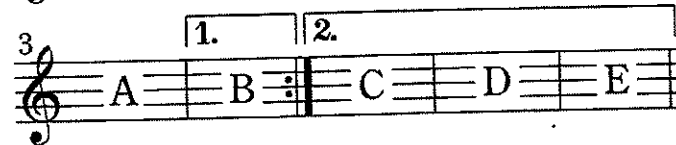
Ex. 1 次の楽譜の演奏順序を () にアルファベットを用いて書こう。



()



()

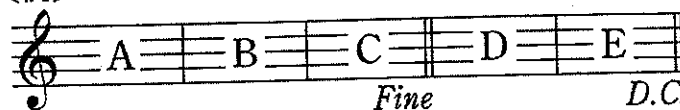


()

■ ダ・カーポ (Da Capo)

ダ・カーポは「始めから」という意味でD.C.と略記される。この記号が記された小節まで演奏し、曲の始めに戻る。そして終わりを意味する*Fine* (フィーネ), または $\textcircled{\cdot}$ (フェルマータ) が付いている複縦線まで演奏する。

[例]




[演奏順序]

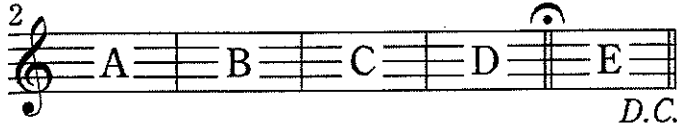
ABCDEABC

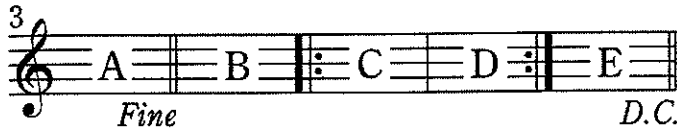


ABCDEAB



Ex. 2 次の楽譜の演奏順序を () にアルファベットを用いて書こう。

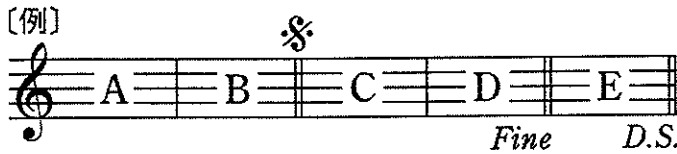
1  ()

2  ()

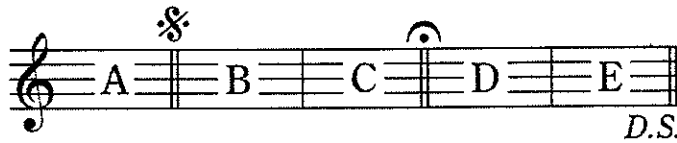
3  ()

■ ダル・セーニョ (Dal Segno)

ダル・セーニョは「へ戻る」という意味でD.S.と略記される。この記号が記された小節まで演奏し、の付いた小節へ戻る。そしてFineまたは \frown の所まで演奏する。

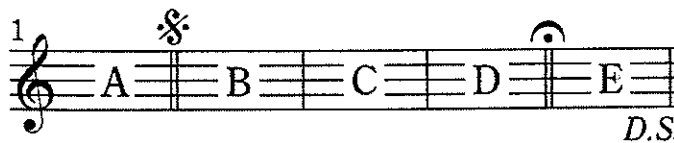
[例] 


[演奏順序]
A B C D E C D



A B C D E B C

















Ex. 3 次の楽譜の演奏順序を () にアルファベットを用いて書こう。

1  ()

2  ()

3  ()































第4章 音符と休符

音符	名称	休符	名称	長さの割合 (♪, ♪を1とした場合)
	全音符		全休符	0-----1-----2-----3-----4
	付点二分音符		付点二分休符	0-----1-----2-----3-----4
	二分音符		二分休符	0-----1-----2-----3-----4
	付点四分音符		付点四分休符	0-----1-----2-----3-----4
	四分音符		四分休符	0-----1-----2-----3-----4
	付点八分音符		付点八分休符	0-----1-----2-----3-----4
	八分音符		八分休符	0-----1-----2-----3-----4
	十六分音符		十六分休符	0-----1-----2-----3-----4








































(—は1小節休む場合にも用いられる)

■ 付点音符, 付点休符

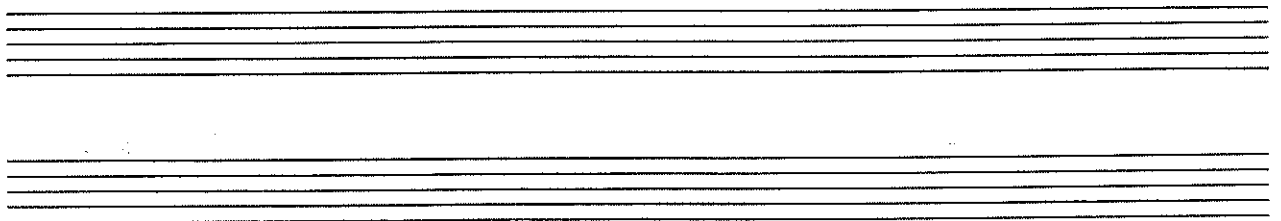
音符や休符に点が付くと元の長さに、その半分の長さがプラスされる。

 =  + 	 =  + 	 =  + 
(付点全音符)	(付点二分音符)	(付点四分音符)
 =  + 	 =  + 	 =  + 
(付点全休符)	(付点二分休符)	(付点四分休符)
 =  +  + 	 =  +  + 	 =  +  + 
(複付点二分音符)	(複付点四分音符)	(複付点二分休符)

Ex. 1 次の音符・休符の長さの計算で、正しいものには○, 誤っているものには×を()の中に書こう。

- | | | |
|---|---|---|
| 1.  +  =  () | 2.  -  =  () | 3.  +  =  () |
| 4.  -  =  () | 5.  +  =  () | 6.  -  =  () |
| 7.  +  =  () | 8.  -  =  () | 9.  +  =  () |
| 10.  +  +  =  () | 11.  +  +  =  () | 12.  -  -  =  () |

曲名
作曲者名
演奏形態
研究
感想
備考



曲名
作曲者名
演奏形態
研究
感想
備考

